

IWC シャフハウゼンが 持続可能な高級時計製造における リーダーシップを強化

シャフハウゼン、2020年7月21日 - 本日、IWCシャフハウゼンは、グローバル・レポーティング・イニシアチブ (GRI) の基準に沿った先駆的な持続可能性レポートの第2版を公開いたします。

IWCは、2018年にこのベスト・プラクティスに関する世界基準を導入した最初のスイス高級時計ブランドです。2020年までに達成すべき持続可能性目標を設定することにより、透明性の高い責任ある商慣行に向けた取り組みを強化してきました。そして今回、隔年報告を行うという公約を果たします。

本レポートの公開は、持続可能性をIWCの意思決定プロセスに組み込み、自社の社会的および環境的影響を管理して社会に付加価値をもたらそうとするIWCの取り組みの進捗をお伝えするものです。

持続可能性レポート作成における業界のリーダー

IWCは、持続可能性に関して透明かつ協調的な取り組みにより高級時計業界をリードしています。数世紀にわたって受け継がれてきた技法と最先端の技術とを組み合わせ、何世代も評価される精巧な時計を生み出してきた、その時計メーカーとしての長期的思考は、常に卓越性を追求するIWCのアプローチを支えてきました。

IWCシャフハウゼンは2017年に初めて2020年までの持続可能性目標を設定し、以下の目標を達成したことをご報告いたします。

- 温室効果ガス排出量の10%削減、梱包材の平均の重量と容積の30%削減という環境目標
- トレーニングにおける男女平等の実現、年間の企業ボランティア活動時間の倍増、健康および幸福度の推進による欠勤率の10%削減という目標
- 責任あるジュエリー協議会 (RJC) 行動規範 (Code of Practices) 認証の再取得

ビジネスと社会にとっての長期的価値

IWCは、手作業による時計製造および最高レベルの持続可能性基準の順守において長期的な思考を取り入れています。私たちは、改定版にあたる2019年度の責任あるジュエリー協議会 (RJC) 行動規範を満たした最初の高級時計ブランドです。この規範には、責任ある商慣行とサプライチェーン管理に関してより厳格な条項が定められています。これは、調達、雇用主としての責任、地域コミュニティへの投資を含め、法的要件を超えるグッドプラクティスを採用したことがRJCによって評価されたものです。

IWCはさらに、グローバルレベルおよびローカルレベルで、環境への影響を管理する取り組みを継続的に実施しています。最新のシャフハウゼン製造センターにおける持続可能なメカニズムの設計から、世界中での100%再生可能なエネルギーの調達に至るまで、いずれも過去2年のうちに実現しています。私たちは雇用主として地域コミュニティへの投資も行っており、スイスで「Great Place to Work™」(働きがいのある会社)として認定された最初の高級時計ブランドでもあります。従業員の90%がIWCファミリーの一員であることを誇りに思うと述べています。

「2年前、GRI基準に沿って時計業界初の持続可能性レポートを発表した際、私たちは、スイスの高級時計会社がこれまで提供したことのない、自分たちの世界への窓を提供しました。透明性を強化するための取り組みを進めることで、予想もしなかった方法で、お客様、サプライヤー、コミュニティ、そして従業員との距離が縮まりました。それは実に刺激的な旅であり、ここまでのIWCのすばらしい取り組みを誇りに思います。

持続可能な方法で行動することは、IWCのすべてのメンバーが共同で行う連続的かつ協調的な努力であり、これで終わり」というゴールがありません。私たちはさらなる進歩が可能であることを先んじて認識しています。今後も、1868年当時の創業者と同じ開拓者精神を以て良い影響を与えるべく自分たちの責任を果たしていきます」と、IWCシャフハウゼンCEOのクリストフ・グランジェ・ヘアは語ります。

さらなる持続可能な未来に向けて

すでに目標とされてきたレベルを超える循環経済の原則が導入されることになっており、透明性の強化は継続的な取り組みとなるでしょう。これには、製造工程で発生する熱の再利用、ゴールドのリサイクル、持続可能な新素材の開発などが含まれます。

IWCは、環境的持続可能性および多様性に重点を置いた2022年までの明確な目標を定めました。その中には、同一賃金の認定取得、女性管理職の割合を2017年から倍増、グリーンIT戦略の策定と実施、持続可能なイベント計画の実施などが含まれます。

最高マーケティング責任者 (CMO) 兼サステナビリティ委員会委員長のフランチェスカ・グゼルは次のように述べます。「利害関係者との継続的で一貫した対話は、バリューチェーン全体に対する社会的および環境的影響を管理する方法を継続的に改善する為に役立っています。持続可能性レポートの隔年公表は、私たちが与える影響を責任もって管理し、説明責任を果たすための手段のひとつであり、持続可能性を意思決定に継続的に組み込むことで、さらなる前進を図りたいと考えています」

グローバル・レポーティング・イニシアチブについて

グローバル・レポーティング・イニシアチブ (GRI) は、世界でもっとも普及している持続可能性レポート作成の枠組み、重要課題、評価指標、持続可能性関連問題の管理についての情報を論理的かつ包括的に共有するための構造化された書式を提供します。

IWC シャフハウゼン

1868年、米国の時計技師であり、起業家でもあったフロレン
タイン・アリオスト・ジョーンズはボストンからスイスへ渡り、
シャフハウゼンに「インターナショナル・ウォッチ・カンパニー」
を設立しました。彼が描いた夢は、先進的なアメリカの製造
方法とスイスの時計技師たちが持つ優れた職人技を組み合わせ、
その時代の最高の懐中時計を作ることでした。そして彼は
IWCの独創的なエンジニアリング手法の基礎を築き上げ、ス
イスの地で機械式時計の集中生産を確立しました。

IWC シャフハウゼンは150年にわたる歴史の中で、正確かつ
頑丈で、顧客にとって使いやすいクロノグラフやカレンダーな
どの機能を組み合わせた時計を生み出すことで高い名声を得
てきました。またIWCは、チタンやセラミックなどの素材の先
駆者であり、チタンアルミやセラタニウム[®]などの先進的な素
材を用いたテクニカルウォッチケースの製造もおこなっていま
す。華美な装飾よりも「形態は機能に従う」という原則を優先
するスイス時計メーカーとして、時代を超越した製品への思い
は、まさに人生を旅するオーナーたちの夢と志を体現してい
ます。

IWCは、責任を持って素材を調達し、環境への影響を最小限
に抑える措置を講じながら、何世代にもわたり受け継がれる
持続可能な時計を生み出しています。また、すべての従業員に
快適な職場環境を提供し、誇りをもって未来を担う時計職人
とエンジニアたちへのトレーニングを実施しています。さらに、
IWCは子供たちと青少年への支援に向けて世界的に活動し
ている組織とも提携しています。

ダウンロード

写真は press.iwc.com よりダウンロードいただけ
ます。

お問い合わせ

IWC シャフハウゼン

広報部門

E-Mail press-iwc@iwc.com

ウェブサイト press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

ウェブサイト iwc.com/ja

Facebook facebook.com/IWCWatches

YouTube youtube.com/iwcwatches

Twitter twitter.com/iwc

LinkedIn [linkedin.com/company/
iwc-schaffhausen](https://linkedin.com/company/iwc-schaffhausen)

Instagram instagram.com/iwcwatches_jp

Pinterest pinterest.com/iwcwatches